

## 店舗向け、自動発信、リモート操作可能なテレビ電話

ストア・スコープ 定価 ¥290,000 -

従来テレビ電話の問題点であった

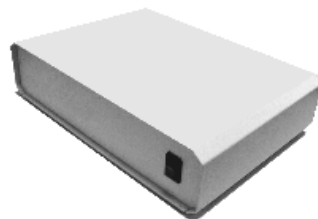
テレビ電話を、さりげなく棚の上などに置きたい。

テレビ電話の全ての操作を遠隔地から行いたい。

店舗側に全く気付かれる事無く店舗の様子を見たい。

既設の監視カメラと接続し、遠隔地からカメラを切替えて見たい。

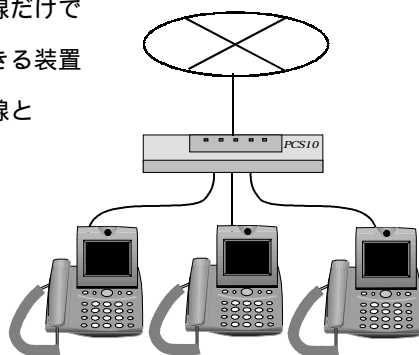
店舗側から各種スイッチで、自動発信したい。 Store Scope は、このような問題にお答えできる安価なテレビ電話です。もちろん、Phoenix mini などとの交信も可能。



## ミニISDN交換機

PCS-10 定価 ¥260,000 -

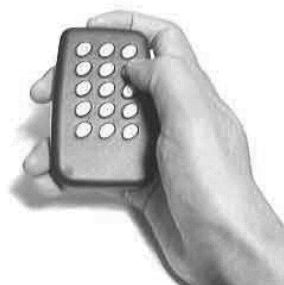
PCS10は、複数のテレビ電話を設置し、外線だけではなく内線テレビ電話としても活用する事ができる装置です。3台のテレビ電話を接続し、1台が外線との通話中にも、残りの2台で内線テレビ電話通話が可能です。もちろん内線通話に、通信コストは発生しないので、長時間の社内監視にも有効です。



## 通話中のPB音が短かかったり使えない テレビ電話でも大丈夫

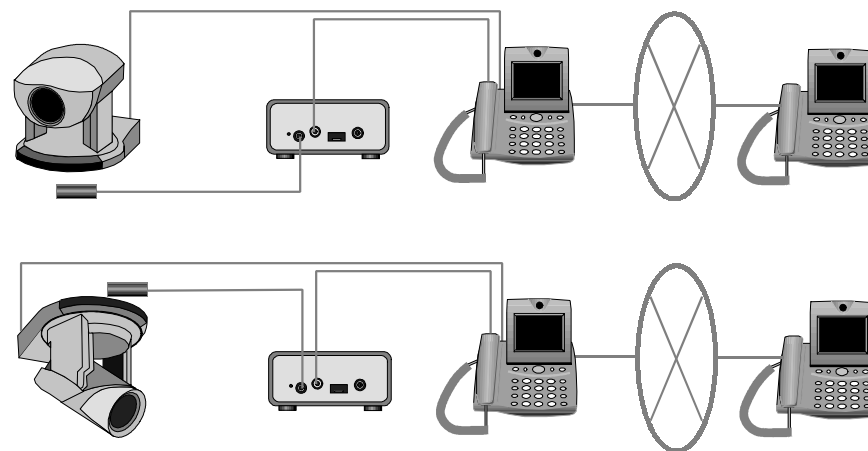
トーン・ジェネレータ 定価 ¥3,300 -

Phoenix mini type-s をはじめとする各社のテレビ電話の中には、通話中にPB音（ピポパ音）が使えなかったり、ダイヤルキーを押した瞬間しか音が出なかったりする機種があります。そんな場合は、このトーンジェネレータがあれば、ロボットカメラの操作ができます。



## Phoenix mini のダイヤルキーで首振ズーム機能が使えます

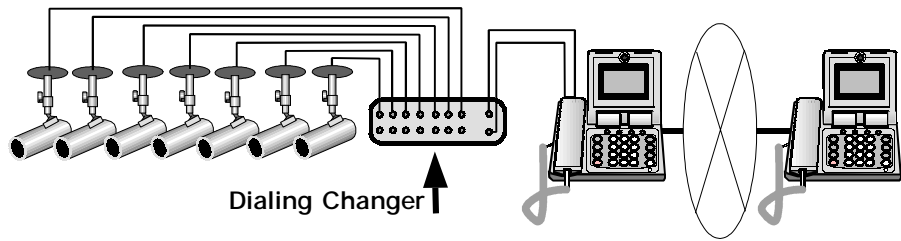
ダイヤリング・ムーバ 定価 ¥96,000 -



### 解説

テレビ電話は、誰にでも普通の電話と同じ要領で使える、最も身近なマルチメディア商品です。でも、せっかく相手の映像が見られるのだから、相手の顔だけじゃなくて、周りを見回す事ができた方がいいんじゃないかな？ という事で登場したのが、このダイヤリングムーバです。テレビ電話のダイヤルキーを押すだけで、相手のロボットカメラをコントロール、右を見たり、左を見たり、もちろんズームだって出来ちゃいます。会社で使えば、業務にもすごく役に立ちます。現場の様子を確認する場合でも、ロボットカメラなら、広い範囲を細かく見ることができるのです。ダイヤリングムーバがあれば、テレビ電話とロボットカメラをドッキング、何処でも見れる“どこでも窓”の出来上がり。

**監視カメラご利用中の店舗の全てに Phoenix mini を！**  
**ダイヤリング・チェンジャー 定価 ¥180,000 -**

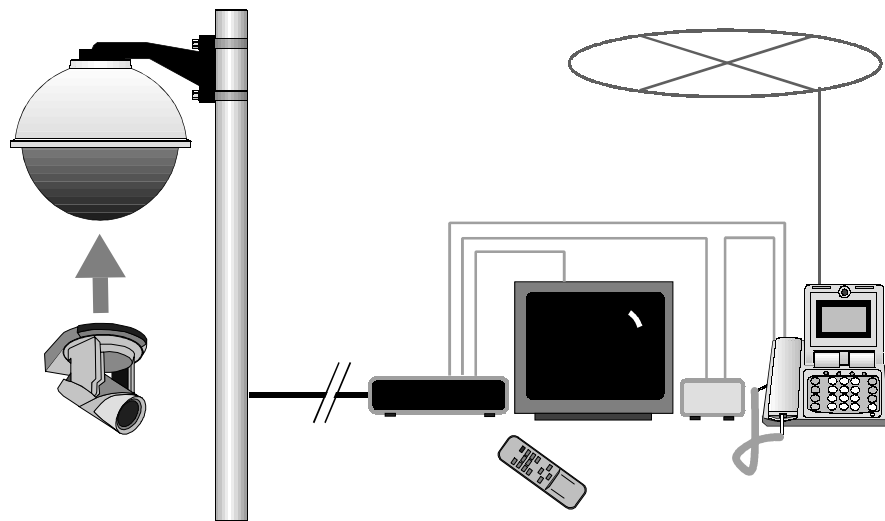


Dialing Changer ↑



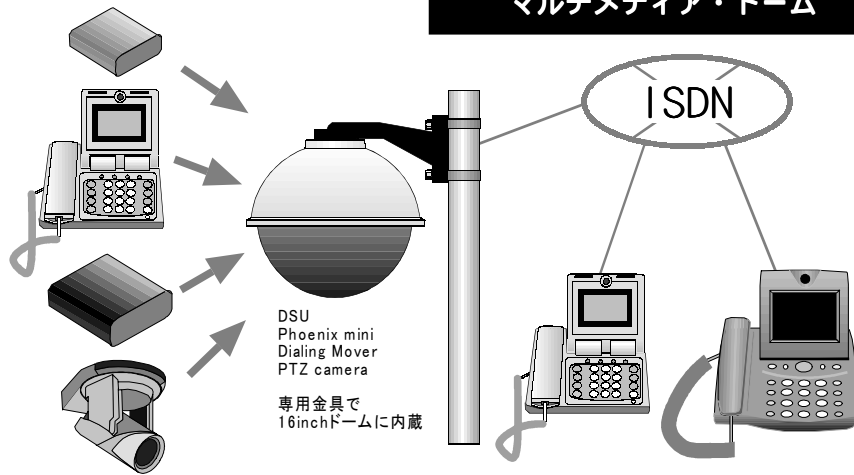
**解説**

例えば、複数の店舗を管理している経営者の方は、毎日のように各店舗を巡回する事が日課となっております。そのような方にとっては、わざわざ出かけなくても、遠隔地の店舗の様子がわかれば大変便利です。店舗以外でも、工場や、病院、工事現場などでも有効です。従来の監視カメラの映像を、テレビ電話で遠隔地から確認できるダイヤリングチェンジャーは、従来大掛かりな装置がなければ出来なかった事が、誰にでも使えるテレビ電話を使って、ダイヤルキーでカメラを Change し、まるでテレビのチャンネルを変えるかのように映像確認できる装置です。



『Super 現場奉行』は、12inch ドームにロボットカメラを内蔵し、監視室からカメラをリモコンで操作できます。ダイヤリングムーバを用いてテレビ電話からの操作も可能です。下図のマルチメディアドームは、16inch ドームにロボットカメラ、ダイヤリングムーバ、テレビ電話を内蔵したもので、収納効率が良く ISDN を直接ドームに繋ぎ込むものです。

**マルチメディア・ドーム**



DSU  
Phoenix mini  
Dialing Mover  
PTZ camera  
専用金具で  
16inchドームに内蔵

ムーバで Phoenix mini にも接続できる屋外ロボットカメラ

Super 現場奉行 定価 ¥498,000-

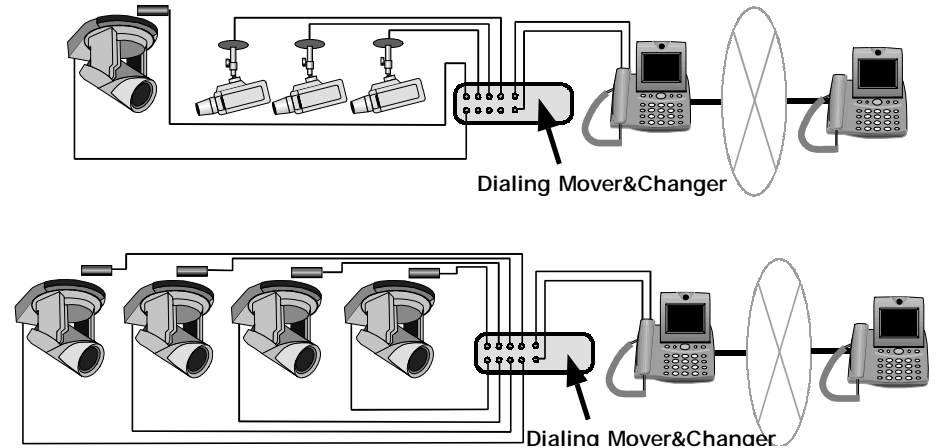


解説

せっかくのロボットカメラも、屋外で使いたいよ～！ という声にお答えして登場したのが現場奉行。ダイヤリングムーバを使って、テレビ電話と接続もできるのです。また、動画サーバと接続すれば本当の屋外ライブカメラを作る事も可能です。(屋外ライブカメラと言っても普通は窓から見た外の景色ばかりです) 現場奉行は、それ単体で監視カメラとして使えます。赤外線リモコンで屋外カメラを操作し、テレビで映像を見る事ができるのです。世界で一番安価な屋外ロボットカメラシステム、それが現場奉行です。

Phoenix mini に4台のロボットカメラを接続し、切替、制御が可能

ムーバ・アンド・チェンジャー 定価 ¥220,000-



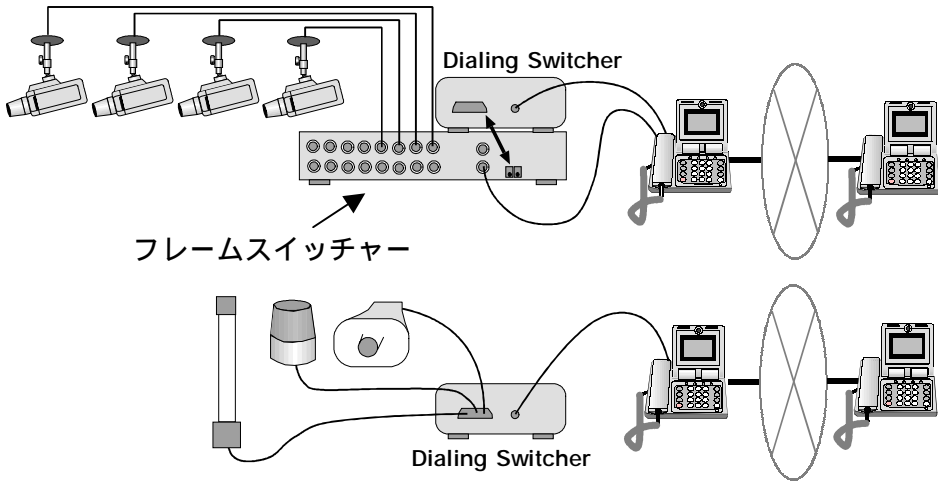
解説

ムーバは1台のロボットカメラを制御  
チェンジャーは7台の固定カメラを切替  
えられますが、当然複数のロボット  
カメラと切替えが可能な装置も必要と  
なります。

ムーバ・アンド・チェンジャーは、最大4台のロボットカメラを接続し、映像切替えや制御切替えを行い、1台の Phoenix mini で4台のロボットカメラをフル活用する事ができます。この1台でムーバ4台分の威力があります。



**既設のフレームスイッチャーと、Phoenix mini を接続**  
 ダイヤリング・スイッチャー 定価 ¥180,000 -

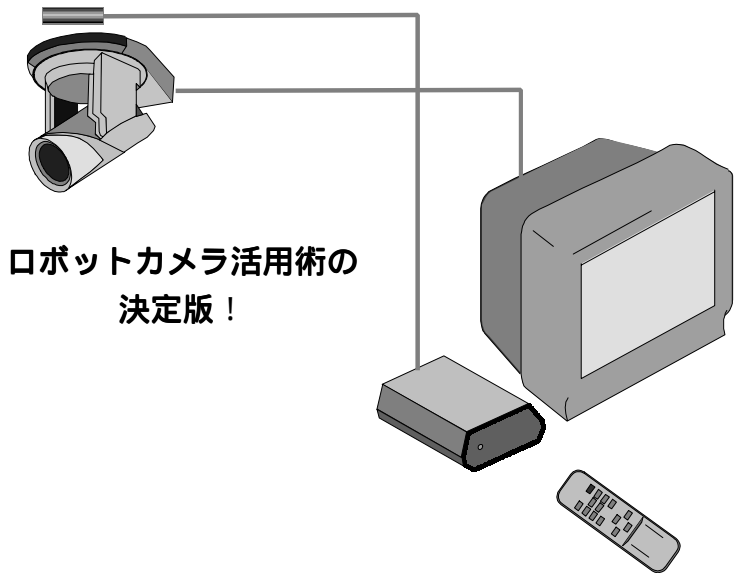


**解説**

多くの店舗では既に監視システムが導入されています。その場合、テレビなどに表示するカメラ映像を切替えたり4分割画面を合成したり、タイマーで映像を切替えたりする機能を持つ、フレームスイッチャーなどと呼ばれる機器が設置されています。このフレームスイッチャーと Phoenix mini を接続し、遠隔地から操作する事のできる機器が、ダイヤリング・スイッチャーです。



**壁の向こうのロボットカメラをリモコンで操作可能な、最廉価版システム**  
 リモコン奉行 定価 ¥75,000 -



**ロボットカメラ活用術の決定版!**

**解説**

テレビ電話も屋外も関係なく、ロボットカメラで別室の様子を確認できればOKという方のためにあるのがこのリモコン奉行です。この装置ではリモコンの信号をリピートして別室のロボットカメラに伝えます。お店などでは、監視などを行う場合の監視カメラを、もう少し多機能にしたい場合が多いのではないのでしょうか？ これがあれば、壁の向こうからロボットカメラをリモコン操作できます。はっきりいって“何でこれまで無かったの？”というような装置です。

